

資料 1—2（資料 1—1 の補足資料）

- ・阪神農林事務所
- ・宝塚土木事務所
- ・伊丹市
- ・宝塚市
- ・川西市
- ・三田市
- ・猪名川町

川西市内もも園地に係る農林・普及合同巡回調査の概要

1 目的

クビアカツヤカミキリによる地域の農業被害を未然に防ぐため、管内で対象樹種が一番多くまとまって栽培管理されている川西市内もも園地を重点対象地域とし、JA兵庫六甲川西営農支援センター協力のもと、阪神農林振興事務所と阪神農業改良普及センターが合同で巡回調査。

2 調査日および調査体制

- (1) 令和7年8月6日(水)：農林・普及職員9名で3班体制で実施。
- (2) 令和7年8月20日(水)：農林・普及職員9名、農業改良課1名、農林水産技術総合C3名のほか、JA職員1名、県自然保護協会3名、樹木医1名の協力のもと、計18名で4班体制で実施。

3 調査結果の概要

- (1) 調査本数：全調査は場 48筆 もも1,174本、うめ20本、計1,194本
- (2) 調査結果：もも2本のフ拉斯が陽性判定。うち、1本には幼虫も確認。



4 調査後の対応状況及び今後の予定

(1) 陽性判定樹の処置（必要資材については、農業改良課から提供）

- ①幼虫が確認された陽性判定樹については、成虫が拡散する恐れがあることから、8月29日に地際から伐採。切り株をシートで覆う処置を講じた。（右上写真）
- ②もう1本の陽性判定樹については、9月29日にネット巻による処理を実施。（右下写真）



(2) 産地対策の検討

- ・川西市と農林・普及で10月8日に対策について打ち合わせ済。
- ・まん延防止のための園地管理（防除方法やフ拉斯の確認・成虫発生シーズンの見回り方法等）や防除対策等に係る補助事業※の活用について、生産者に対しての説明会を12月～1月に実施予定。

※防除対策に係る活用予定事業：「消費・安全対策交付金（重要病害虫の特別防除等）実証事業」

01

阪神北県民局管内におけるナガエツルノゲイトウの対応状況（農業水利施設編）

1 猪名川町 内馬場（排水路）

(1) 経緯

- R6.7.3 環境保護団体(流域ネット猪名川)が確認。
- R6.7.10 県(副局長、阪神農林、普及C)-町-自治会-流域ネット猪名川共同による緊急防除作業を実施。
【写真2】
※以降自治会や農会、多面的機能支払活動組織により数回除去活動を実施。
- R6.8.20 農研機構による現地調査。
(農林水産省と環境省の合同事業：侵略的外来種の根絶技術の研究開発)
- R7.3 ウシオ電機(株)によるUV機器設置。
- R7.3 多面的機能支払活動組織(内馬場農地・水・環境保全会)による遮光シート敷設。【写真3】
※緊急防除対策事業による補助
- R7.4.8 農研機構による実証実験開始。(最長2箇年実施予定)



写真1 内馬場分布範囲



写真2 緊急防除作業



写真3 遮光シート設置状況

阪神北県民局管内におけるナガエツルノゲイトウの対応状況（農業水利施設編）

（2）状況

- 主な成育箇所は、ほ場隣接の排水路溝畔で特に落差工周辺での繁茂が顕著。【図1】
- 当該農地の主水源はため池で河川に放流後、井堰取水により開水路で流下しているが、水源池及び上流河川での分布は確認したが不明。
- 農地内も広範囲に成育していたが、人力駆除後は除草剤により地上部の繁茂は抑制。
- 現在、UV照射部は死滅しているものの、照射がかからない箇所や遮光シートの隙間などから伸びてきているが拡大傾向は認められない。

（3）UV実証実験（R7～）

- 農研機構とウシオ電機(株)により共同研究が進められている遠紫外線（以下UV）を活用した不活化技術開発のための実証試験地として選定。
- UV照射により水路等に繁茂したナガエツルノゲイトウ群落の成長抑制及び侵入防止効果の確認を行うことを目的とした実証実験。
- 単年度照射後に経過観察する区域と2箇年(R7～8)照射後に経過観察する区域を設け、定点カメラで群落の繁茂／再生状態を観察。【写真4・5】
- 定期的に地上茎および根の状態も抽出して確認。
- 遠紫外線（Care222）は人体への影響は無く、不可視。
- UV照射器は、仮設(単管櫛)や電源引込など大掛かりであり、一般展開には現場条件やコスト面が課題。
- 実証結果はR9年度に報告とりまとめの予定。



写真4・5
UV照射器設置状況

UV照射器

項目	回答（所属名：宝塚土木事務所）
発生状況について	強化月間が終了した9月以降は県管理施設で発生は確認されていない
現状での対策について	道路パトロール等の日常管理業務の中で街路樹などの変状を監視 新たな発見情報を得た場合は発生状況を確認のうえ、必要に応じて周辺の詳細点検を実施
今後の取り組みについて	同上

項目	回答（市町名：伊丹市）
発生状況について	<p>クビアカツヤカミキリ 現時点では確認されていない</p> <p>ナガエツルノゲイトウ</p> <ul style="list-style-type: none"> ・昆陽池公園（市管理地）の自然池で、発生 ・イオンモール伊丹の西側の駄六川（県管理地）で発生
現状での対策について	<p>クビアカツヤカミキリ 早期発見のため、成虫の飛翔時期にサクラの多い公園等をパトロールする。</p> <p>ナガエツルノゲイトウ 昆陽池公園では、管理作業に支障のある部分を定期的に駆除</p>
今後の取り組みについて	<p>クビアカツヤカミキリ 早期発見のため、成虫の飛翔時期にサクラの多い公園等をパトロールする。</p> <p>ナガエツルノゲイトウ 昆陽池公園では、管理作業に支障のある部分を定期的に駆除</p>

項目	回答（市町名：宝塚市）
発生状況について	<p>(1) フラス 日時：2025年7月24日 場所：長尾台1丁目</p> <p>(2) フラス 日時：2025年7月28日 場所：花屋敷松ガ丘</p> <p>(3) フラス 日時：2025年9月5日 場所：壳布4丁目</p>
現状での対策について	<p>(1) ネット巻き（雑巻） 周辺調査実施 市ホームページ掲載 伐採（抜根）予定（日程未定）</p> <p>(2) ネット巻き（雑巻） 周辺調査実施 市ホームページ更新 伐採予定（日程未定）</p> <p>(3) ネット巻き（丁寧巻） 周辺市管理施設等調査、チラシ配付実施 市ホームページ更新 モニタリング対応</p>
今後の取り組みについて	<ul style="list-style-type: none"> ・市HP掲載 ・市公式SNS投稿 ・チラシ配布

項目	回答（市町名：川西市）
発生状況について	<p>市内桃園地において、阪神農林振興事務所と阪神農業改良普及センター合同で8月に調査をしており、プラスのPCR検査の結果、陽性判定は、計2本出ている。また、陽性の伐採木から幼虫が発見されている。</p> <p>ナガエツルノゲイトウについては、令和6年5月10日、市内の自然活動団体から「多田院2丁目4番地付近の田にナガエツルノゲイトウが繁殖している」との連絡を受けた。市では現地調査及び地元自治会に注意喚起文書と県作成のチラシの配布を行った。</p>
現状での対策について	<p>①府内の所管課に対して、各関連団体等への情報提供並びに各施設管理者へクビアカツヤカミキリのプラス等の確認作業を行ってもらうよう要請した。</p> <p>②市ホームページにおいて、クビアカツヤカミキリ、ナガエツルノゲイトウを含む特定外来生物に関する記事を掲載、また、府内でチラシの配架を行い、クビアカツヤカミキリの特徴や通報窓口の周知をしている。</p> <p>③市内で活動する自然活動団体や川西市環境審議会委員、公民館などに対して、クビアカツヤカミキリの通報窓口やクビアカツヤカミキリのプラス等の発見に関する情報提供を行っている。</p> <p>④市内学校園所へクビアカツヤカミキリの特徴や、通報窓口の周知を行っている。</p>
今後の取り組みについて	<p>①今後も市ホームページにおいて特定外来生物に関する記事を掲載、また、府内でチラシの配架、府内の所管課への情報共有を行い、クビアカツヤカミキリの特徴や通報窓口の周知を行う。</p> <p>②市内桃園地については、県・JA・市で対応策を検討している。</p>

項目	回答（市町名：三田市）
発生状況について	<p>R 6 に初めて市内で発見された。 R 6 (成虫 27 匹、被害木 51 本) R 7 (成虫 2 匹、被害木 52 本) ※R7.10.31.時点</p> <p>発見場所…(1)ふれあいと創造の里周辺、(2)四ツ辻交差点周辺、(3)相野駅周辺、(4)武庫川堤防波田橋周辺、(5)長坂中学校、(6)本庄小学校</p> <p>※ナガエツルノゲイトウ、市内での発見無し。</p>
現状での対策について	<p>■県及び市によるパトロール調査の実施（6/21～7/10）</p> <ul style="list-style-type: none"> ・武庫川桜づつみ回廊（神戸市境界～丹波篠山市境界） ・ふれあいと創造の里周辺 <p>■定期パトロール調査の実施(6/21～)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・目撃情報の確認及び被害木を中心に被害拡大防止の調査 <p>■被害調査業務委託の実施</p> <ul style="list-style-type: none"> ・今年度について、当初 6 月実施を予定していたが、国の交付決定通知の関係で 9 月実施となった。委託業務調査範囲は、昨年 7 月に市内で初めて確認された四ツ辻(ふれあいと創造の里)から概ね半径 2 km 圏内とし、サクラなどバラ科樹木を対象に調査を実施した。 <p>■人材の育成強化</p> <ul style="list-style-type: none"> ・クビアカツヤカミキリ等の基本的な知識や防除ネット被覆の技術を習得するため、県開催の特定外来生物拡大防止研修会等に参加 <ul style="list-style-type: none"> ▷R6 年実施：関係課（環境政策、道路河川、公園みどり、里山保全、まちのブランド観光、幼児教育振興、協働推進、浄水施設）の 13 人が参加。 ▷R7 年実施（ナガエツルノゲイトウ）（環境政策、農村整備） 2 人が参加。
今後の取り組みについて	<ul style="list-style-type: none"> ・伐採対応・ガードネット施工発注など被害木の防除対応について検討中。 ・今年度実施の被害木の調査については、次年度は交付決定前着手届を提出することで早期着手を目指す。

項目	回答（市町名：猪名川町）
発生状況について	発生していない
現状での対策について	<ul style="list-style-type: none">・パトロールの実施・町道等の木の剪定を行う際に、プラスの有無の確認を行っている。
今後の取り組みについて	上記と同様の取り組みを実施。